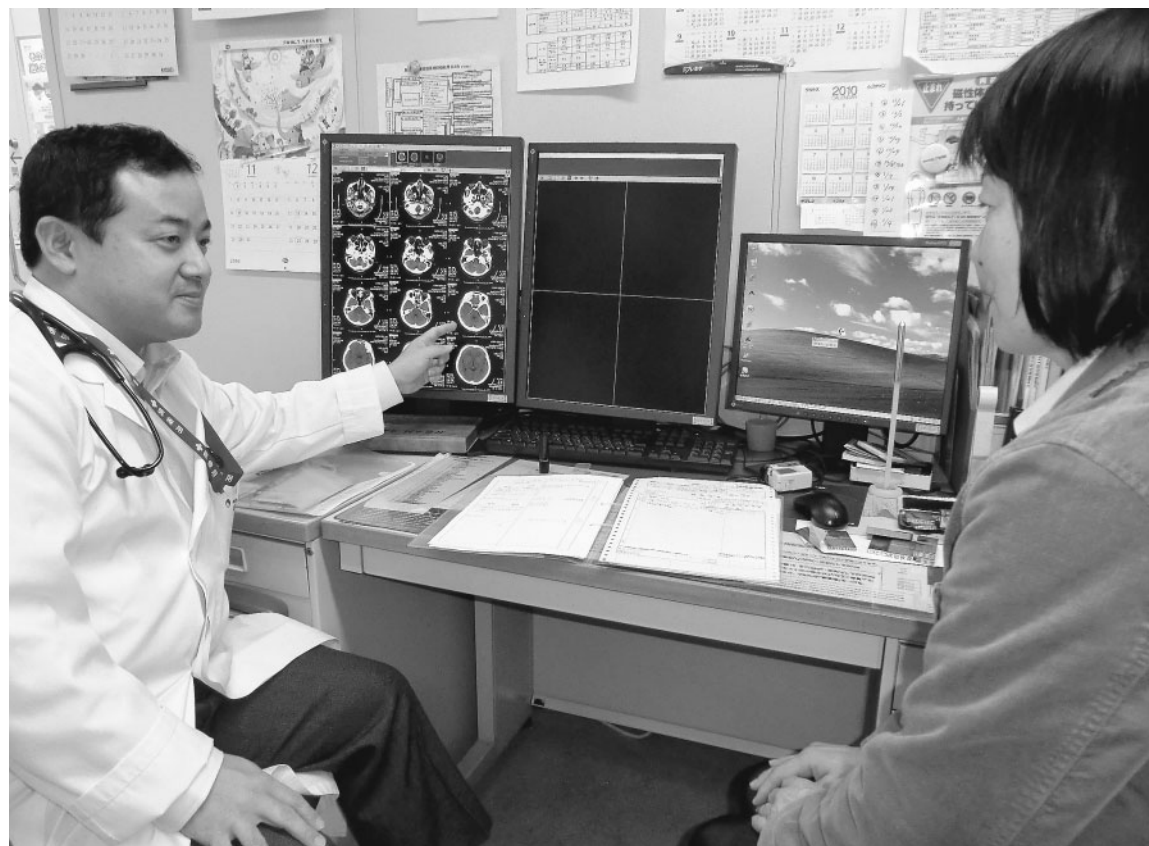


医療の質と患者サービスの向上を目指して

12月1日から加東市民病院で

電子カルテシステムが稼働します



電子カルテシステムの導入により、検査データなどをパソコン画面で確認しながら、わかりやすい説明が受けられるなど、より安全で安心な医療サービスが提供できるようになります。

電子カルテとは？

病院には、患者さまの病状や検査結果、処置、薬の内容などを記録し保存する診療録「カルテ」があります。加東市民病院では、これまで紙に書いたカルテを使用していました。電子カルテとは、コンピュータを利用してすることにより、患者さまの病状や検査結果、レントゲン写真の画像、処置、薬の内容などを電子的に記録・保存したカルテのことをいいます。

電子カルテのメリットとは？

【医療の質の向上】

診療科を越えた情報の共有ができ、カルテに含まれる診療情報の確認が容易になることで、より質の高いチーム医療が行えます。そのため、複数の診療科を受診されている場合でも、他の診療科の診療内容が即座に確認できるようになります。

【患者サービスの向上】

診療時の安全確認をコンピュータで行うことにより、薬の飲み合わせを自動的にチェックしたり、注射薬に間違いがないかをバーコードで確認するなど、安全性の高い医療を提供することができ、診療記録データを迅速に分析することで、根拠に基づいたより良い医療を提供することができ、患者さまにわかりやすい説明が可能になります。従来の紙カルテを電子化し、院内のネットワークに接続することで、検査結果を画面上で見ることができ、グラフ化された検査データなどがカルテに表示されるため、画面を見ながら、今まで以上にわかりやすい説明を受けることができます。各部署間で瞬時にデータ転送ができるため、会計などで待ち時間が短縮されます。

電子カルテになると何が変わるの？

【入院では・・・】

安全管理のため、リストバンドを着けていただきます。注射などの際には、リストバンドを用いて、患者さまの確認や点滴内容の確認を行います。

また、看護師はノートパソコンを使い、病室でも患者さまの最新情報の入力や確認を行います。

【外来では・・・】

すべての患者さまに、来院受付をしていただくこととなります。これまでは、診察予約や検査予約の患者さまは来院受付なしで直接受診される診療科やレントゲン・検査室の受付に行っていたのですが、12月1日からは医事課受付または自動再来受付機に診察券を通して来院受付をお願いします。

各診療科の受付で当日の受診内容が印刷された用紙をお渡ししますので、それを持ってレントゲン・検査室に行ってください。

初診の場合は、各科外来で診察の調整をいたします。

他院からの紹介で来院される場合は、かかりつけ医を通して診察日時が予約できます。従来どおり、診察後に次回診察日時の予約ができます。院外処方箋は会計窓口でお渡しします。なお、FAXコーナーはこれまでどおりご利用いただけます。問い合わせ

市民病院医事課
☎ 42・5511(代)

市民病院からの

「お知らせ」とお願い

受診されるときは、必ず診察券をお持ちください。

予約済の場合も、必ず再来受付を行ってください。

現在お持ちの診察券は、従来どおりご利用いただけます。

電子カルテになることで、診療の流れが一部変更となり、お待たせする場合があります。みなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



自動再来受付機の利用方法

利用の手順

診察券を診察券入口に挿入してください。

画面上で受付操作をしてください。

受付が完了すると、受付票と診察券が出てきます。

受付票と診察券を受け取り、各診療科の受付にお渡しください。



診察券を入れて画面で受付操作を行ってください。



受付票を受け取り、各診療科の受付に渡してください



自動再来受付機

操作方法が不明な場合は、案内または医事課受付までお申し出ください。